

ぼうはん
防犯

ネット犯罪から身を守る

クレジットカード犯罪



なまえ

年 組 番

点

1 クレジットカードに関する説明として、正しい(適切な)ものを{ }内から選び、○で囲みましょう。(各10点:30点)



▶ クレジットカードとは、物を買ったり、サービスを受けた時の代金を{無かったこと・出世払い・後払い}にできるカードで、手元に現金がなくても支払いができる。

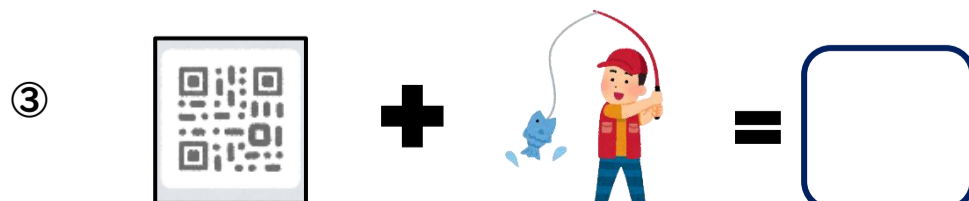
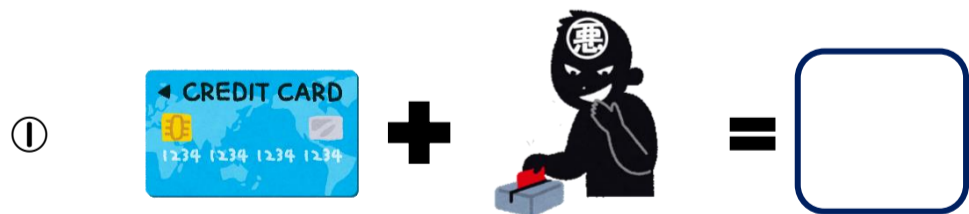
▶ クレジットカードは、カード番号などの情報があれば{ウィンドウショッピング・ネットショッピング・お店で言うだけ}で使えてしまうので、他人に見せたり、教えてはいけない。

▶ クレジットカード不正利用被害全体のうち、番号盗用被害の割合は、{少ない・約半分・大部分を占める}。

2 次の絵の組み合わせが示す、クレジットカード犯罪の手口を下の語群から選び、記号で答えましょう。(各10点:30点)

語群

- ①クイッシング ②スキミング ③フィッシング



3 次の会話は、クレジットカード会社に勤務する人からのアドバイスです。()に当てはまる言葉を下の語群から選びましょう。(各5点:10点)

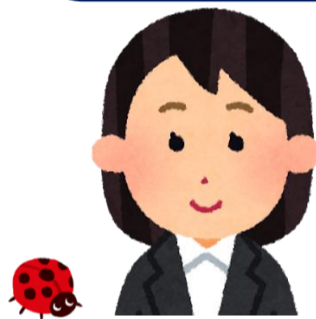
語群

- SNSなどのダイレクトメッセージ ●モールス信号
●メールの受信歴 ●クレジットカードの裏面

最近のフィッシングは、ショートメールや電子メールだけではなく、()でも送られてくることもありますから、注意してください。



利用した覚えのないクレジットカードの利用があったときには、()に書かれた電話番号や二次元コードを読み取って出てきた連絡窓口に電話をしてください。



4 クレジットカードの利用に関して正しい話をしている人をすべて選び、記号で答えましょう。(30点)

ア 3年位前に引っ越したけど、住所変更は面倒なので、クレジットカード会社に連絡していません。

イ クレジットカード情報をアプリなどに登録するとき、「どのアプリに何のクレジットカードを登録したか」を記録してるよ。

ウ いろんなクレジットカード会社のアプリを使っていますが、私は物忘れが多いので、アプリのパスワードは、どれも同じにしています。

エ クレジットカード会社のサイトとそっくりな怪しいサイトがあるから、私はクレジットカード会社のアプリからしかアクセスしてません!



答え



ぼうはん 防犯

ネット犯罪から身を守る

クレジットカード犯罪



なまえ

年 組 番

点

5 クレジットカード犯罪に関する問題です。

の犯罪手口の対策方法を から選び、
線でつなぎましょう。(各5点:20点)

偽・詐欺サイト

パソコンとスマートフォンに
のぞき見防止フィルタを貼る。

不正アクセス

IDとパスワードはアプリやサイト
ごとに変えて、二段階認証や
多要素認証を設定する。

ソーシャル
エンジニアリング

インターネットブラウザにID・
パスワード・カード情報などを
保存せず、専用のパスワード
を管理するアプリを使う。

インフォ
スティーラー

ネットショッピングの時に、
商品が安すぎないか、会社
概要の住所や連絡先、
URLが偽物ではないか等
をしっかりと調べる。

OSバージョンを最新にしたり、パス
ワードを長く、記号を使って複雑に
するなどの、基本も忘れずにね!



6 下の人たちが話している内容が正しいものには

○、誤りには×を の中に記載しましょう。

(各5点:30点)

最近のフィッシングメールは、
本物そっくりに作られていて、
見分けることは難しいって聞
いたよ!

クレジットカードの利用状況なん
で自分で使ってるんだから、
確認する必要ないでしょ。



偽サイトのURLをまとめている
サイトがあるからネットショッピング
をするときは、そういうサイトを
チェックすることも大事なのさ☆

1回だけ使える秘密の合言葉を
入力したりして、クレジットカード
を使っている人が本人かどうか
を確認する仕組みがあるよ!



「クレジットカード情報の更新」
というメールが届いたら、メール
の中のURLから登録すれば
良いんだよ!

不正利用されたときにすぐ分かる
よう、クレジットカードの利用通知
サービスを設定した方が良いでしょう。



サイバー犯罪から大事な情報を守るために

フィッシングや偽ショッピングサイトの手口は、年々、巧妙かつ悪質化しています。

クレジットカードは大変便利ですが、その利便性は正しい自己管理があってこそ成り立つものです。

犯罪者は、利用者の「今しかない」と思わせる言葉で心隙を狙っています。「自分は大丈夫」「自分は関係ない」と思わず、日頃から最新の犯罪手口を確認しましょう。特に金銭にまつわる話には日頃から注意を払い、「メールのリンクからアクセスをしない」「利用明細をこまめに確認する」といった行動を習慣化していただき、被害に遭うリスクを下げましょう。

もしも迷ったり、被害に遭ったかもしれないと思った時には、一人で悩まず、すぐにクレジットカード会社や警察などへ相談していただき、被害を最小限に抑えましょう。

あなたの大切な資産と生活を守るため、サイバーセキュリティに関する下記情報サイトを活用してください。



埼玉県警察
ホームページ



サイバーテスト
回答はこちら!!



埼玉県警察
サイバー対策課
公式X

フォローしてね!

